

令和6年度学校施設開放運営委員会 議事概要

開催日時	令和6年10月29日（火）午後6時30分～午後8時00分
配付資料	資料1 学校施設開放運営委員名簿 資料2 令和5年度学校施設開放事業における運用見直し内容について 資料2-2 団体区分フローチャート 資料2-3 開放時間枠の見直し内容 資料3 アンケート調査の実施及び結果について 資料3-2 アンケートチラシ 資料3-3 アンケート調査の回答結果 参考資料1 団体による利用マナー違反の事例 参考資料2 港区立学校施設等運営要綱

主な意見

意見（1）	区民から学校に問合せがいつってしまうケースがあり、団体もどこに問合せたら良いか迷っているように感じます。すぐに解決できなくても、最初の問合せを学校ではないところが受けるだけでも学校の負担軽減にはつながるため、外部問合せ窓口が設けられると良いと思います。
意見（2）	学校が3か月前に開放の予定を提出することは、見通しが立たない中で予定表を提出するため、学校にとっては負担だと思っています。
意見（3）	学校の負担はゼロではありませんが、軽減された実感があります。学校が予約状況を港区施設予約システムで確認できたらより良いと思います。
意見（4）	開放管理員を常時配置できれば、教員の負担軽減になり、団体は直前まで空き予約ができるため良いと思います。
意見（5）	港区施設予約システムで、開放枠が空いたら通知が行く仕組みやキャンセル待ちができれば、団体にとってはより使いやすいです。
意見（6）	一般団体の利用が増え、学校側にとっては顔見知りでない団体が増えており、団体による学校備品の物損やごみのポイ捨てなどのマナー違反が増えていっているように感じます。特に最近は故意に学校施設が汚されたりする事例も見受けられ、学校に負担がかかっています。
意見（7）	港区施設予約システムの導入は学校にとっては非常に大きなことで、団体の申請が電子化されただけではなく、何かあった時に区に相談できるということもメリットだと思いますし、各校の副校長にとっては働き方改革になっていると思います。
意見（8）	今後のより良い運用の検討のためにも、学校側の意見を聞く機会を設けるべきだと思います。今回行ったアンケート調査は団体を対象としたものであったため、各校の学校施設開放事業を担当している副校長を対象に、アンケート調査を実施したほうが良いと思います。